



<施設の概要>
 所在地：兵庫県神戸市中央区中山手通2丁目
 建築面積：2,042.74㎡
 延床面積：5,226.47㎡
 構造・規模：鉄骨造（免震構造）、地上3階建て
 施主：日本放送協会
 総合管理：NHK技術局開発センター（建築技術）
 設計・施工：大林組・日本設計・イチケン特定建設工事設計・施工連合体
 電気工事：（株）きんでん
 工期：平成15年5月～平成16年7月

Hf器具の連続配置と昼光センサーの採用により、美しい照明ライン配置と快適な視環境、省エネを実現

■初期照度補正、適正照度補正を採用した執務室の照明

NHK神戸放送会館は、地域社会の活性化と本格的なデジタル放送時代に向けた放送局です。神戸らしいのびやかで繊細・鮮明なファサードデザインと電波の波をイメージした鉄塔は、神戸港に行き交う船舶のイメージと重なる印象をつくっています。

2、3階大執務室の照明は、32WHf蛍光ランプ天井埋込OALルーバ付器具の連続配置により、外部から眺めた際にも美しいライン照明配置とし、グレアの少ない照明環境を形成。また調光用インバータ、昼光センサーの採用により初期照度補正、適正照度補正を行い、机上面700lxの快適な視環境を確保するとともに省エネを図っています。

南面の景観照明は、デジタル化からイメージされる未来性や鮮明性を象徴的に表現したもので、ガラススクリーンにある水が流れるようなドットをCDMアップライトとボーダー照明で照らし、ガラス面の光を柔らかな印象にしています。また、軒下部分にはポール照明とガーデンライトを連続的に配置して街路側にも柔らかな光を投げかけています。鉄塔照明は、色温度の異なるメタルハライドランプと高圧ナトリウムランプの組み合わせにより、明・暗のあるライトアップ効果を狙い、最上部には白色LEDを組み込みポイントにしています。

■照明コンセプト

Lighting design concept

- 視覚的作業環境への配慮、外部から眺めた際の均整のとれた美しいライン照明配置、省エネへの配慮
- デジタル化からイメージされる未来性や鮮明性を象徴的に表現した景観照明



2階 放送センター



1階 会議室



南面夜景



南面夜景

■主要照明器具一覧

設置場所	器具・ランプ	
1F会議室・2F放送センター・3F事務室他	Hf32W1灯用天井埋込器具(OALルーバ付)、昼光センサー、ミニクリプトダウンライト	
スタジオ一般照明	Hf32W2灯用笠付器具、ハロゲンスポットライト、ハロゲン直付ダウンライト	
廊下	FHT32Wダウンライト、ハロゲンダウンライト(ユニバーサル)、間接照明	
屋外	トアガーデン	CDM70Wダウンライト、LEDダウンライト、ガーデンライト、フットライト(LED、キセノンランプ20W)、CDM-R35Wスポットライト
	南メディアスクリーン	CDM-R35Wスポットライト、ボーダー照明
外	西面道路側	LED(白色)手摺照明、CDM-R35Wスポットライト
	鉄塔	高圧ナトリウムランプ投光器、メタルハライドランプ投光器、高演色形高圧ナトリウムランプ投光器、鉄塔最上部LED照明